

E. coli由来フルクトシルペプチダーゼ、組換え

Cat. No. DIA-410

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 フルクトシルペプチダーゼは、酸素分子の存在下で、グルコシルアミンとペプチドのN末端アミノ基との反応によって生成されるケトース誘導体のC--N結合を酸化的に切断する反応を触媒し、糖オゾン（ α -ケトアルデヒド）、ペプチド、および過酸化水素を生成する酵素です。

別名 フルクトシルペプチド：酸素酸化還元酵素; EC 1.5.3; フルクトシルペプチドオキシダーゼ

製品情報

種	大腸菌
由来	E. coli
外形	黄色の凍結乾燥物
EC番号	EC 1.5.3
分子量	ca. 60 kDa
活性	> 4 U/mg 凍結乾燥物
pH安定性	6.0-9.5
最適pH	7.5-8.0
熱安定性	45°C未満
最適温度	35-42°C
ミカエリス定数	3.4 x 10 ⁻³ M (フルクトシル-バリン-ヒスチジン) 4.4 x 10 ⁻³ M (フルクトシル-グリシン) 8.9 x 10 ⁻³ M (Nε-フルクトシル-リジン)
構造	52 kDaのモノマー (SDS-PAGE)
特異性	フルクトシル-バリン-ヒスチジン (100)、フルクトシル-グリシン (53)、Nε-フルクトシル-リジン (84)
安定化剤	EDTA、グルタミン酸
単位定義	1ユニット (U) は、37°CおよびpH 8.0で1分あたり1μmolの過酸化水素を生成する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで
安定性	37°Cで少なくとも1ヶ月間安定